

<2023-24年度会長テーマ> 『 幸せのために 』

世界に希望を生み出そう

例会日/毎週木曜日  
会長/横手 裕康

例会場/リーガロイヤルホテル広島  
幹事/中村 富子

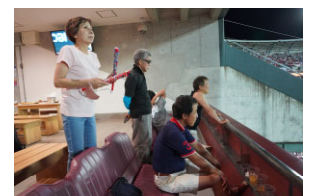
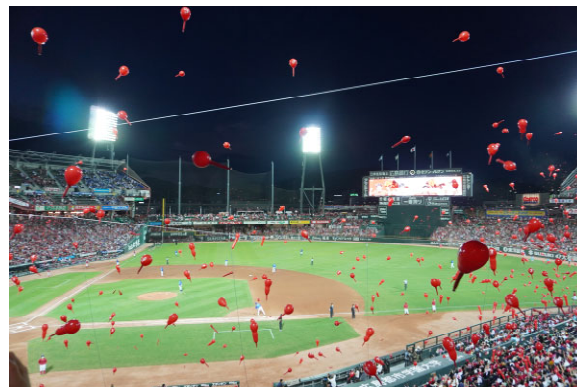
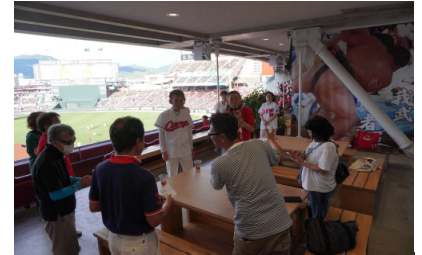
2023年 8月号

Vol.621

2023年8月3日 第1072例会  
夏の家族会(カープ観戦)  
マツダスタジアム

8月第一例会は年に一度のカープ観戦家族会でした。今年の会場は一塁側中二階のパーティールームというなかなかの豪華設定で、横手会長を始め会員諸氏も、パートナーやご家族を交えて楽しいひと時を過ごしていました。今シーズンはカープの調子が良く、首位阪神と1ゲーム差ということで、応援にも自然と力が入ります。結局バウアー投手と床田投手の熱投で0対0の均衡が崩せず引き分けに終わりましたが、まだ勝負は先です。安佐ロータリーもカープさんにエネルギーを貰って力強く進んでいきましょう。

(広報・会報理事 青木 幹丸)



週報番外編

～定点観測 変わりゆく例会場周辺～

8月1日未明、前夜からの突貫工事で、重さ80数トンのペディストリアンデッキ橋桁が無事設置されました。すでに組み立てられていた橋脚上に姿を見せた架橋は、交通量の多い城南通りを跨ぎ、観戦者とスタジアムとを南北に結ぶ動線となります。ちょうど下を通る便があったので、渋る家内を拝み倒して撮ってもらいました。



2023年8月17日(木) 第1073回例会  
リーガロイヤルホテル広島  
3階 安芸の間



会長時間

まずは、8月に入り台風6、7号と立て続けに上陸し、幸い広島では大きな被害はなかったようですが、中国地方では、鳥取では大雨の影響で土砂崩れや橋が崩落するなど集落が孤立状態となり、鳥取といえば梨ですが、JA全農とつとりによると、出荷前の1000玉が台風6号、7号の影響で梨が落ち出荷できなかったようです。

また海外に目を向けると8日、ハワイのマウイ島での山火事が大変なことになっています。11日の詳細では55人が死亡、少なくとも2,100人が避難生活を強いられているようです。ハリケーンに伴う強風で市街地に一気に燃え広がったとのことですが、一自然災害は本当に恐ろしいものです。亡くなられた方々に心よりご冥福を申し上げますとともに、1日でも避難生活を強いられている方々にまた当たり前の日常が戻ってきてほしいものです。

さて、先日8月15日は終戦の日でした。戦争を体験していない私にとっては、8月6日、9日、そして15日が戦争について、原爆について、そして平和について考える機会となっています。

日本では、先の戦争の終戦日が8月15日と認識しているところですが、諸外国を見るとロシア、アメリカなどは9月になっているようです。

1945年8月15日は昭和天皇がポツダム宣言受託を日本国民と大日本帝国軍人に「玉音放送」という形で直接語りかけた日であり、実際にはポツダム宣言を受託した日は前日の14日であり、また降伏文書に調印した日は9月2日であることからアメリカでの第二次世界大戦の終了は9月2日となっているようです。

それはさておき、そもそもなぜこの戦争がおきたのか？戦争をしない選択肢はなかったのか？など私も色々な媒体で情報を収集し、自分なりに考えてはみるのですが・・・相手がいることなので、それぞれの大義名分もあるのでしょうか。一方的な見方はできないなと思いつつながら毎年答えが出ないまま今日まで至っています。また、機会をみて皆様とそういつたお話しができたかなと思います。

さてロータリーの話に触れたいと思います。今月は、会員増強、新クラブ結成推進月間となります。

ご存じのとおり、当クラブは現在17名の会員となっており、私が入会したときは21名ぐらいだったような記憶はありますが、コロナの影響も含め、会員が減少しております。

くしくも本日は、卓話時間において、当クラブの今後の在り方を皆様で話し合ってください時間を設けておりますが、正直会員を増強するための正解というものは現時点でみつからないのが現状かと思っております。

5年間の2710地区の会員数を調べてみました。ローターアクトクラブを合わせ95のクラブがありますが、途中の増減はありますので、コロナの影響を受ける前5年前と今年度の会員数を比較してみました。5年前の会員数3289名、そして今年度の会員数は3167名と約120名強の減少となっています。

広島市内に限って見ますと、5年前と比べて会員数が増加しているのは広島北のみでした。

どこのクラブも会員増強には苦労されていることがわかります。

今後も会員増強については必ず議題にあがることと思っております。間違いないかと思っております。

今年度も会員増強理事を中心に皆様からのお知恵やご協力を得て、クラブとして会員増強につながる行動ができればと思います。

よろしくお祈りいたします。





「クラブフォーラム」  
～クラブの未来について～

横手会長より

広島安佐ロータリークラブの今後について、現在の会員数17名では、これまで行ってきた活動を維持するにはだいぶ経済的に苦しい状況になっております。

正解を求めるわけではありませんし、一人では思いつかない良いアイデアが生まれるかもしれないということでの開催ですので、皆様の忌憚ないご意見よろしくをお願いします。

○協議内容○

①「支出を少しでも減らす方法」

今年度と同様の例会数の開催や、奉仕活動等を行うことが前提です。会員数及び会費も現状維持です。（増えません）

②「あなたが他の誰かを当安佐ロータリークラブに入会案内をするときの誘うときになんといつて誘いますか？」

例会回数（月3回程度、毎週木曜日12時30分～13時30分）、奉仕活動、年会費はすべて現状のままです。会員数も17名であることも正直に伝えます。

ニコニコ箱

¥13,000 累計¥62,000

会員記念日（8月）

☆会員誕生月おめでとうございます

- ・黒田 七郎会員 (S25. 8. 24.)
- ・道垣内 文夫会員 (S38. 8. 29.)

☆入会月おめでとうございます

- ・松岡 興吉会員 (H19. 8. 2.)  
皆さん、これからもよろしくお願いします。
- ・道垣内 文夫会員 (H23. 8. 4.)

☆横手 裕康会員・中村 富子会員

大谷様、ようこそいらっしゃいました。ぜひお食事を楽しんでください。さて皆さん、お盆はゆっくり休まれましたでしょうか。今日はクラブフォーラムです。安佐RCのことを皆でしっかり話し合う機会です。忌憚のないご意見をドンドン出してください。

☆山岡 稔会員

昨日、広島カントリークラブ西条コースで38-45の83のベストスコアが出ました。

8月17日(木) 第1073回

本日のプログラム

「クラブフォーラム」  
～クラブの未来について～

幹事報告

1. BOX配布物

- ・ガバナー月信8月号、ロータリーの友8月号
- ・2023-24年度在広ロータリークラブ会員名簿
- ・11月10日～12日地区大会登録案内・プログラム
- ・ロータリー日本財団令和5年1月～6月確定申告用寄附金領収証

※BOXにない方は、8月の会費請求書と一緒に郵送しております。

2. 例会変更

- ・9月のプログラム
- ・休会のご案内(9月21日)
- ・広島東RC「夜間例会&夏の家族会」  
とき：8月23日(水)18：30～  
ところ：ホテルグランヴィア広島

3. お知らせ

- ・10/26のクラブ協議会と11/2のガバナー公式訪問の出欠表を回覧しておりますので、ご回答の程、よろしくお願いいたします。
- ・創立25周年記念事業について、ご提案を募っております。予算は20万円です。9月末日までに、中村幹事までご連絡下さい。よろしくお願いいたします。
- ・北上和賀RCの7月会報が届いております。回覧いたしますので、ご覧下さい。

出席報告 第1070回 7月13日

会員数	17名	出席率	88.24%
出席	11名	ご来賓	0名
欠席	6名	ご来客	0名
メークアップ	4名	ゲスト	0名



国際ロータリー第2710地区第47回インターアクト地区大会

開催日程：7月29日(土)～7月30日(日)

テーマ：「つなげよう 奉仕と自然の豊かさを」

会場：野田学園高等学校(山口県山口市野田56番地)

崇徳高校 IAC参加生徒 感想文



「地区大会に参加して」 崇徳高校 1年 久保田ひまり

7月29日(土)

- 11:30～12:50 受付・登録・昼食
- 13:00～13:30 開会行事
- 13:40～14:20 講演1:「秋吉台は3億年のタイムカプセルだ！」  
講師：美祢市立秋吉台科学博物館学芸員 藤川 将之様
- 14:50～18:35 視察 秋吉台 秋芳洞及びその周辺
- 18:45～20:30 夕食・生徒交歓会 RC・顧問教師交流会  
チェックイン
- 21:00～22:00 入浴 就寝準備
- 22:00 就寝

7月30日(日)

- 7:00～7:30 起床
- 7:30～8:30 朝食・荷物整理・チェックアウト
- 8:30～9:10 会場集合
- 9:20～10:20 講演2:「持続可能な発展における観光の役割：  
エコツーリズムへの誘い」  
講師：山口大学経済学部教授 陳 禮俊 様
- 10:30～ 全体会  
活動報告(指導者研修会)
- ～11:00 閉会式(次年度開催校挨拶)
- 11:00～ 解散

私達は今回の地区大会で山口県の野田学園を訪問し、秋吉台や秋芳洞の自然と歴史についての講演を聞き、実際に秋吉台と秋芳洞で自然を体感したり、持続可能な発展における観光の役割についての講演を聞いたりしました。

その中でも特に印象に残ったことが2つあります。1つ目は、会長さんが話しておられた、インターアクトクラブが果たす役割についてです。今回のインターアクト地区大会が開催されるにあたって、今までのインターアクトクラブが行ってきた活動やインターアクトクラブがどのように人の役に立っているのかなどを知ることができました。この2、3年で新型コロナウイルスによって、インターアクトクラブの活動が大幅に減り、他県や他国との交流がまともにできない状態だったけれど、最近は少しずつ交流が増えて、新しい発見ができるようになりました。インターアクトクラブでの活動は、利益を得るために行うのではなく、互いに支え合って人との繋がり大切さを知るために行うという正しい目的を持つことが大事だと学びました。私は、まずは近隣の地域、次は地方の都道府県、それから世界の国々というように、どんどん交流の幅を広げてより多くの人と助け合っていくことが大切だと思います。2つ目は、秋芳洞の景色です。秋芳洞に到着するまでに、カルストが広がる秋吉台を通って、カルスト特有の独特な色や形、大きさなどをバスの中から見ました。一見普通の広大な草原に見えるけれど、秋吉台に近づけば近づくほど、草原の隙間から灰色や白っぽい石が見えて、3億年の年月を考えるとこれまでよりもとても鮮やかに見えました。また、当日は猛暑日でしたが、秋芳洞に着いた瞬間一気に冷たく涼しい空気になり、体感温度が下がるのを感じました。秋芳洞に入ると、数多くのつらら石や石筍、滝のように流れている地下水などが見られ、100年でわずか1cmほどしか成長しないことを想像すると感慨深く、自然の偉大さを感じ、美しい景色が鮮明に記憶に刻まれました。

今回の研修を通して、他の地域や国と交流することの大切さや、自然が大切にされている理由などの多くのことを学ぶことが出来ました。私はこれから、ボランティア活動を通して学校や地域の人との身近な交流を増やして、常に新しい発見をして学習していきたいと思っています。また、地域の交流を盛んにして、地域のためのまちづくりを目指すということを忘れないように日々生活をしたいです。

「3億年の歴史を体感して」 崇徳高校 1年 森澤 明奈

私は今回の山口研修を通して多くの事を学ばせていただきました。

1日目は、「秋吉台は3億年のタイムカプセルだ！」の講演で、秋吉台は今から約3億年の年月をかけて、サンゴ礁から現在のよ様な姿になったということを知り、長い歴史を感じることができました。そのようなことを学んだ上で実際に秋吉台を視察してみると、以前訪れた時とは見方が変わってとても壮大に見えました。秋芳洞の中は初めて入りましたがとても涼しくて驚きました。匂いや空気感が地上とは違うのでとても不思議な気持ちになり、暑い夏には観光スポットとして最適だと思います。

夜は他校のインターアクト部の方たちと一緒に食事をする会を設けていただきました。広島県だけでなく、山口県の高校の方たちと交流することができたため、新鮮で山口県について深く知ることができました。野田学園の皆さんがビンゴなどの企画をしてくださり、とても楽しく食事することができました。ホテルもとても過ごしやすく綺麗で、1日の疲れを癒すことができました。山口の街の風景なども見ることで楽しかったです。

2日目は「持続可能な発展における観光の役割；エコツーリズムへの誘い」という講演を聞かせていただき、その地域ごとの歴史や魅力を観光客に伝えていくことが大切で、それが環境を守ることもつながっていくということも知りました。

今回の研修を通して、自然や環境を保護する大切さをたくさん知ることができました。2日にわたって貴重な講演を聞かせていただいたり、秋吉台などを実際に視察して学ぶことができたり、他校のインターアクトの方たちと交流できたりと、非常に有意義な時間を過ごすことができました。この研修で培ったことをこれからの部活動に活かしていき、より良いインターアクト部にしていきたいと思っています。

山口ロータリークラブの皆様、ホスト校の野田学園インターアクト部の皆様、この度は誠に世話になりました。

私は今回初めてインターアクト部の中でこのような経験をさせていただきました。

1日目、山口県の野田学園を訪問させていただき、美祢市立秋吉台科学博物館学芸員の藤川さんの講演「秋吉台は3億年のタイムカプセルだ!」を聞きました。そこでは秋吉台の石の性質や昔は海の中にあり、3億年の時間をかけて現在の形になったことを知りました。その時に見せていただいた秋吉台の写真に私はとても心を惹かれました。私はもともと自然が大好きで、外国や日本の滝や森、川、海、湖などの写真を見ることが好きでしたが、この講演でいろいろな説明を聞き、秋吉台の景色がとても気に入りました。また世界の歴史も好きなため、今回の大会の中で特に興味深く楽しみにしていました。実際に秋吉台に着いた時、写真では感じられない臨場感や涼しさを肌で感じてとても印象に残る体験となりました。鍾乳石は鍾乳洞の天井から水滴が落下し100年でわずか1cmしかできないことを知り、何年もの年月をかけて成長してきたことを想像しながらツララ石や石筍などを見た時、自然の偉大さを強く感じることができました。また、時間をかけて少しずつ何枚もの皿を作りあげていることを考えながら100枚皿を見ていると不思議な感じがしてとても楽しかったです。その後ホテルで交流会があり、他校の様々なインターアクト部の方たちとビンゴやクイズなどのレクをしながら食事をし、また山口県のことをこの機会により深く知ることが出来ました。

2日目は少し帰るのが寂しく感じながら野田学園にお邪魔させて頂き、山口大学経済学部教授の陳 禮俊さんの「持続可能な発展における観光の役割エコツーリズムへの誘い」についての講演をお聞きしました。特殊で特別な景色や環境、産物などを活用することでその地域を活性化させたり、観光スポットにしたりすることが大切という内容でした。その地域の特徴を上手く使い、売り出すことで地域をブランド化することができ、さらにその地域に住む人や街などの生活がより良くなり、街全体の発展に繋がるという新しい発想を学ぶことができたことは、今後のインターアクト部での活動に大いに役立てることができると思いました。

今回このような経験をさせてくださった皆様本当にありがとうございました。

私は、今回の山口でのインターアクト地区大会で2日間に渡って秋吉台の歴史や、観光の役割について学びました。

私が最も印象に残っていることは、秋芳洞へ実際に行き、自然が作り上げてきたものを自分の目で見たことです。一日目に、ホスト校である野田学園へ訪問し、講師の方に秋吉台の3億年の歴史について講演をして頂きました。山口県美祢市にあるカルスト台地は、石灰石が分布する地域での溶食による特異な地形と水系の発達、および生態系を含めた環境系全体のことでありと学びました。講演後にバスの中からカルスト台地を見ると、とても広大な緑が広がっており、点々と大きな岩やくぼみがあり、どうやってできたのか不思議に思いました。また、秋芳洞は洞窟へ入った瞬間冷気を感じとても涼しくて驚きました。中はとても広く、歩いていると天井から石灰分を含んだ水滴が落ち、長い年月をかけて固まってできた鍾乳石がたくさんありました。私はこれを見て、長年自然を守っていくことが美しいものを作り出すことに繋がると感じました。私が秋芳洞の中で1番印象に残ったものは、黄金柱というものです。黄金柱は、秋芳洞の天井から地面まで繋がっており、太さもとても太かったことが印象に残っています。そこでガイドさんから、黄金柱を照らすライトをLEDに変えたことによって柱の色が変色し、新たな苔が生え始めたという話を聞き、このような自然でつくられたものを展示する方法にも工夫があるのだと思いました。他にも、百枚皿や縮緬岩、大黒柱など、どれも綺麗で幻想的なものばかりでした。今でも美しいものを見られるのは、これを長い年月守り続けている地域の人々の努力や熱意の賜物であるという素晴らしさに気づくことが出来ました。

2日目の講演では、観光業について学びました。観光業はとても情弱で、ランキングが上であってもすぐに落ちてしまう産業であると学びました。その中でも、現在は新しい観光への取り組みが考えられており、特に観光まちづくりがされており、本来観光用でない新しいネタを使い、地域固有の良さを磨くことで人気の観光地へと成長すると学びました。そのため観光業では、観光のためだけでなく、まちづくりのために取り組み、〇〇らしさをつくるのが大切だと分かりました。

私は今回のインターアクト地区大会で改めて自分たちの力で自然を守っていくことの大切さを学びました。そのためこれからの活動で自然を守るために行われている様々な活動に積極的に参加して、現在目指している持続可能な社会に向けて自分のできることから取り組んでいきたいと思えます。





2023年8月24日(木) 第1074回例会  
リーガロイヤルホテル広島  
3階 瀬戸の間



### 会長時間

先日、22日に広島14RCの合同幹事会及び正副会長幹事による懇親会がANAクラウンプラザホテルにて開催されました。

ご出席いただいた中村幹事、山岡副幹事におかれましてはご多忙の中、大変お疲れ様でした。

あいにく岡田副幹事が体調不良のためご出席叶いませんでしたが、残暑が大変厳しい毎日が続いていますのでどうぞ体調管理には十分ご留意頂ければと思います。

さて、本日の会長時間ですが、令和5年10月1日から広島県の最低賃金が現在の930円から970円に改定されるようです。

職業柄、最低賃金については敏感なところがありますが、特にパート様を多く抱えている企業にとっては、なかなか大変なトピックかと思えます。

と言うのも、時給等で働くパートタイマーは主婦層が多くを占めているのが現実でその方たちのほとんどがご主人の扶養の範囲内で勤務されています。

扶養内で働く場合、年収の基準があるわけですが、このたびの最低賃金上昇に伴い、その基準が上がるかと言われればそうではなく、この基準は変わらないわけです。

そうなるとどうなるか・・・まだまだ扶養の範囲内で勤務したいと希望される方が多いと思われしますので、当然そうなると、年収基準を超えるわけにはいかないの、勤務時間を短くし、年収の調整を図るようにしていくのが現実かと思えます。企業にとっては支払うべき給与はそのまま労働力という意味では少し減少に転じるのではないかと危惧しています。賃金の上昇は必要なことですが、併せて他の制度とも兼ね合いを取らないと、思うような成果があらがないのではないかと考えておりますが、企業訪問などで様子をうかがいたいところです。

材料、燃料費等が高騰する中で、さらに賃金アップと会員皆さんの会社にとっても厳しい状況が、会員同士で情報共有していきましょう。

「来賓卓話」  
～左右のふしぎについて～  
広島民俗学会理事

小沢 康甫 様



わたしは中国放送でテレビ番組を制作していた。ある日、「左右」をテーマに特集を放送。反響の大きさに手応えを覚え、情報収集に拍車がかかった。きょうは左右の謎をかいつまんで紹介したい。

これは縁起物の「左馬」。馬の文字が左右逆になっている。ウマを逆さに読むと「舞う」。舞は古来、めでたい席に欠かせない。そこで左馬は福を招くという。

右を含む言い回しには「右に出るものはない」「右腕」「右へならえ」が挙げられ、右には優れているイメージがある。一方、左は「左前」「左遷」など右に比べて劣るニュアンスを含む。しかし、左馬は左が招福の意味を持つ。

雛人形の男女はどう並べるか。関東雛と京雛は異なる。古い形式は京雛で、男雛を向かって右、女雛を左に置く。長野県安曇野の双体道祖神も確かめた限り、京雛と同様だった。

昭和3年、天皇の即位礼が行われた。このときの両陛下の並びにならって男雛を左、女雛を右とすることになった。

人々の通行も興味深い。アーケードや地下街では概ね左側を歩く。その理由を探りたくなる。

コーヒーカップの取っ手は左右のどちらにするのか。調べたところ、「客からみて左」が多かった。発端は明治時代。教育者・下田歌子が礼法の教科書にそう記している。

神社の注連縄は左右両端の太さが違う。通常、向かって右端が太い「縄い始め」となる。背景には神道の左上位(参拝者からみれば右上位)が潜む。狛犬の阿吽も同様で、阿形を向かって右に置く。

縄の縄い方には右縄いと左縄いがある。右縄いはモノを縛る縄に使い、左縄いは聖域を示す注連縄や神事に用いる。神社の注連縄はほぼ100%左縄いと言っている。

左右は、あらゆるところにみられる。細かく観察することで、その不思議に気づく。ぜひ「左右という名のモノサシ」を手を持って歩いてみてください。街が一層、楽しくなります。

相変わらず厳しい残暑が続いておりますが、今日の卓話ゲスト、広島民俗学会理事小沢康甫様のお話は、そのじつとりとした空気をしばし打ち破るような清涼感に満ち溢れておりました。

話しぶりも、紹介者三宅会員の後輩、中国放送の元アナウンサーでいらっしやっただけに、滑舌よく軽妙なテンポでとても耳にやさしく感じられました。左と右にまつわる蘊蓄のあるお話は、その彼方にある深遠な領域への興味を大いに唆ります。

これをご縁に、わたしたちも、日本の伝統的な習俗・文化を大切に受け伝えていきたいものですね。

(広報・会報理事 青木 幹丸)



## ニコニコ箱

¥15,000 累計¥77,000

☆横手 裕康会員・中村 富子会員

小沢様、本日は卓話ありがとうございます。大変、楽しみにしております。

☆青木 幹丸会員

先週は例会を忘れて失礼をしました。慶応高校の応援には、私もおよそ40数年前の神宮球場の早慶戦を思い起こしておりました。

☆三宅 恭次会員

慶応高校が優勝しました。直後に「明日はニコニコですね」とライバル早稲田の青木会員からメールがありました。私は高校は違いますが、「社中」として応援していました。それに大活躍した延末選手のお父さんがRCCの後輩です。

☆三宅 恭次会員

小沢さん、卓話楽しみにしています。興味深いテーマですネ！

8月24日(木) 第1074回

本日のプログラム

「来賓卓話」

～左右のふしぎについて～

広島民俗学会理事

小沢 康甫 様

## 幹事報告

### 1. BOX配布物

- ・8月定例理事役員会の議事録
- ・10/5(木)「親睦夜間例会」のご案内

### 2. 例会変更

- ・広島西南RC「創立37周年夜間例会」  
と き：9月2日18:30～※9/5昼からの変更  
と ころ：ANAホテル広島

### ・広島陵北RC「野球観戦夜間例会」

と き：9月6日(水)17:30～ ※同日変更  
と ころ：マツダスタジアム広島

### 3. お知らせ

- ・次週8/31は休会です。次回例会は、9/7となりますので、お間違いのないよう、よろしくお願いいたします。

## 出席報告 第1071回 7月27日

会員数	17名	出席率	82.35%
出席	13名	ご来賓	0名
欠席	4名	ご来客	2名
メークアップ	1名	ゲスト	0名

## 崇徳高校IAC募金

8月分

谷会員・松岡会員・奥芝会員・岡本会員

合計	4,000円
総額	8,000円

## 2023年7月度クラブ出席率

会員数：17名  
例回数：3回  
クラブ出席率：82.37%

### 週報番外編

～定点観測 変わりゆく例会場周辺～  
(リーガロイヤルホテル広島32階より)

久しぶりの更新になりました。

先週、お盆休みボケとは言いたくないのですが、不覚にも例会を忘れておりました。屋根が全面張られましたね。いよいよ屋内の観戦にも拍車がかかるのではないのでしょうか。ところで、素人ながら気になるのは、天然芝の養生のことです。肝心な日当たりと風通しがどうなのでしょう。かつて、神戸のノエビアスタジアムの芝が根づきが悪く、ラグビーとの共用も相俟ってとても不評を買っておりました。それは人工芝とのハイブリッド化でクリアされているようですが、メンテナンスには苦勞されたようです。広島ではその心配が杞憂に終わりますように。

